

[illegible]

総合計画／実施計画書 業務事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局	部局名	総務部
	課室名	収納課

6. 前年度の事業評価					評価に関する視点	
事業の必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。		
理由	豊後大野市の税等の収納対策、特に差押や民事訴訟の実施により徹底した滞納整理が必要。					
行政との関係	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	5	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを供給できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。		
理由	税や公共料金等であり、当然行政の業務である。					
手段の妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。		
理由	徴収業務を一部民間で行なうことは可能であるが、本市においては現状の手段が最も妥当である。					
事業の効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。		
理由	過年度滞納繰越の収納率は向上しているが、現年度対策も含めて効率的運用を図る必要がある。					
事業の予算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	1	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。		
理由	予算処置の必要はない。					
人体制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。		
理由	現体制を充実させ、より機能的な運営を行なう。					
事業規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。		
理由	自主財源の確保のために出来得る手段を模索する。また、業務の中で委託することにより、より効率的と思われるものについては委託も視野に入れる。					
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。					
現年度賦課分の収納対策については、現課との連携と協力が必要とする（事務分掌、人員配置等の課題）。電算収納管理システム（特に帳票関係及びデータ履歴の管理）の機能の充実。 支所関係における滞納者への対応策として、支所との連携及び収納強化策の検討が必要。						
部長	課長	班長	担当者			
			内線 2381 E-mail @bungo-ohno.jp			